

(参考様式第2号)

厳原集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

厳原集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	4経営体
個人	16経営体
集落営農(任意組織)	1組織

○ 農地の集積面積

41.7ha(区域内の農地面積662.69ha、集積率6%)

4. 今後の地域農業の在り方

【水 稲】 目標収量を確保して良品質の米が稔る稲の体格作りを行う。

【しいたけ】 新規就農者を中心に生産基盤の整備・原木の確保・販売ルート等の改善を重点的に対馬しいたけをブランド化していきたい。

【露地野菜】 新規就農者を中心にネット販売など、幅広い経営を図る。

【施設栽培】 目標収穫量を確保し、栽培技術を向上させていきたい。

【畜 産】 増頭を目標に、安定的な経営計画を立て、新規就農者を増やしていきたい。

以上

(参考様式第2号)

美津島集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

美津島集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	16 経営体
集落営農（任意組織）	2 組織

○ 農地の集積面積

17.5ha（区域内の農地面積367.89ha、集積率4.7%）

4. 今後の地域農業の在り方

【水 稲】 水稻作の省力・低コスト化を図り、新規就農者の育成にも取り組んでいきたい。

【そ ば】 排水対策を行い収量向上と、対馬そばのブランド化を進めていきたい

【しいたけ】 認定農業者と新規就農者を中心に、品質向上を図り、良質で安全な対馬しいたけをもっとアピールしていきたい

【飼料作物】 今後の畜産業発展のため安全で良質な自給飼料を目指す

【畜 産】 担い手の確保及び質的向上と肉用牛増頭強化を図る。

(参考様式第2号)

豊玉集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

豊玉集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	12 経営体
集落営農（任意組織）	3 組織

○ 農地の集積面積

29.3ha（区域内の農地面積292.84ha、集積率10%）

4. 今後の地域農業の在り方

【水 稲】 認定農業者を中心とし高品質・安定生産を目標に今後も作付けに力を入れていきたい。

【飼料作物】 良質な牧草を維持し生産性の向上を図る。

【畜 産】 担い手の育成と肉用牛の増頭にも力を入れていきたい。

【しいたけ】 新規就農者を中心に、安全・高品質な対馬産しいたけをもっとブランド化していきたい。

【施設栽培】 認定農業者を中心に、栽培技術の向上規模拡大を目指す。

(参考様式第2号)

峰集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

峰集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	21 経営体
集落営農（任意組織）	2 組織

○ 農地の集積面積

24.7ha（区域内の農地面積180.81ha、集積率13.6%）

4. 今後の地域農業の在り方

【水 稲】 認定農業者を中心とした特別栽培の推進により一般栽培米との区別販売を行い所得向上を図るとともに、新規就農者の育成や田んぼオーナー制度、食育の推進への取り組み実施による不作付水田の有効活用を推進する。

【しいたけ】 意欲ある新規就農者を中心に栽培規模を拡大するとともに、良質なしいたけを出荷するため栽培技術の向上を図り、経営発展をめざす。

【飼料作物・飼料用稲】 認定農業者を中心に作付面積を拡大し、自給飼料の収量・品質の向上によりコストの削減と所得向上を図る。

(参考様式第2号)

上県集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

上県集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	25 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

○ 農地の集積面積

53.5ha（区域内の農地面積619.28ha、集積率8.6%）

4. 今後の地域農業の在り方

【水 稲】 認定農業者を中心とし特別栽培の推進により、一般栽培米との区別販売を行って所得向上を図る。新規就農者の育成や田んぼオーナー制度、食育の推進への取り組み実施による不作付水田の活用を促進する。

【しいたけ】 意欲ある新規就農者を中心に栽培規模を拡大するとともに、良質なしいたけを出荷するため栽培技術の向上を図る

【そ ば】 排水対策を行って収穫量を安定させ対州そばのブランド化を図りたい

【アスパラ】 肥培管理を徹底し品質向上と反収を上げていきたい。農業従事者の高齢化に伴い後継者育成にも取り組んでいきたい。

【飼料作物】 認定農業者を中心に作付面積を拡大し、自給飼料の収量・品質向上によりコストの削減と所得向上を図る。

(参考様式第2号)

上対馬集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月28日

対馬市長 比田勝 尚喜

記

1. 会合の対象とした区域

上対馬集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月27日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	2 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

○ 農地の集積面積

53.5ha（区域内の農地面積619.28ha、集積率8.6%）

4. 今後の地域農業の在り方

【しいたけ】 認定農業者を中心に栽培規模を拡大するとともに、良質なしいたけを出荷するため栽培技術の向上を図る。また、新規就農者の確保に努める。

【そば】 耕作放棄地解消のため、今後栽培規模の拡大を図る。